

育てにくい子にはわけがある SEASON 2  
～しでかす子にもわけがある～  
第七回 **今、親子の絆を取り戻すタッチング**  
～触覚が果たす脳力アップ～

サロン限定WEBセミナー  
**10/6(水)**  
21:00-22:20  
@ZOOM

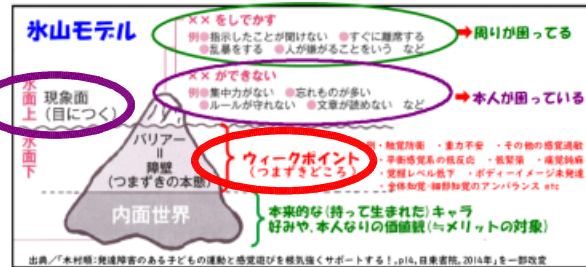
サロン内でアーカイブ動画も配信!  
事前申し込みは必要なし!

講師 木村 順

## ■イントロ編

イ：「これやあ大変、**触覚防衛**が出とるわあ！」

⇒「**タッチング**してあげんとアカンわあ」



**Aちゃんの様子**

【出典/木村 順：発達障害のある子を理解して上手に育てる本, p24, 小学館】

”この子”のつまずきどころ(ウィークポイント)は、『**触覚防衛(反応)**』だ!

**Kくんの様子**

【出典/木村 順：発達障害のある子を理解して上手に育てる本, p20, 小学館】

だから、対策は「**タッチング**」だあ

【出典/木村 順：発達障害のある子を理解して上手に育てる本, p66, 小学館】

……これ、ホンマに触覚防衛ナン?

- ※1 でもね、Aちゃんの場合は、4月に博多から引っ越してきて、岩手地方の方言が分からなくて、友達とうまくコミュニケーションが取れなかったことが原因でした!
- ※2 Kくんの場合は、超お気に入りだったウルトラセブンの絵柄の帽子が風に飛ばされて紛失してしまい、新しく買ってもらった帽子は、何の変哲のない野球帽だったので、悲しくてかぶる気になれなかっただけのことでした!

■**教訓**：その状態が**「触覚防衛(反応)」**に基づく症状なのか否かを”裏付ける”だけの情報を集めておこう!

# □：「そうやった・そうやった、**実態の把握**が大切やったなあ」

## 1. 「**触覚防衛(反応)**」の実態を、この子の「**生活面**」や「**あそび**」の実態から把握していく

2017年度：発達療育実践研究会 / 1月例会用資料「ことばをはくくむ『基礎感覚』～実践的指導～」2018-01-28

木村順(作業療法士)

### 4. 触覚防衛(反応)は、生活場面の「**5つのポイント**」で裏付けられる → 詳細は「**基礎感覚スクリーニング・チェック用紙(第1葉)**」を参照して下さい



【触覚防衛は、好き嫌いのレベルを超えた生理現象】【触覚防衛が出やすい体の部位がある】

～イラスト：大枝桂子氏 / 臨床育児・保育研究会 (<http://www.ikuji-boiku.com>) レポート2000年7月より～

**この子にありがちなその他の心配**

まなざしが合いにくい  
ほおずりしてもらうことやスニークアを嫌がる  
遠い寝るとむずかしくて眠ってくれない

**この子にありがちなその他の心配**

えりのタグを取らないと新しい服を着てくれない  
2歳をすぎてもかみつき、ひっかく  
爪かみや指しゃぶりがやめられない

偏食が強く、食べられない

**この子にありがちなその他の心配**

散髪・耳そうじ・爪切り・歯みがきを嫌がる  
帽子・お面・マスク・手袋などを嫌がる  
のりや粘土を使うとそのと手を洗う

**この子にありがちなその他の心配**

友だちと遊ばず、ひとり遊びのほうを好む  
初めての人、初めての場所を嫌がる  
整列場面になるとトラブルになる

【出典：木村 順編：発達障害の子を理解して上手に育てる本、小学館、P19～25】

➡「**基礎感覚スクリーニング・チェック用紙**」：次頁に

# 基礎感覚スクリーニング・チェック用紙 (第1葉)

よみ 氏名：	(男 女)	記入日：20 年 月 日 (曜日)	記入者	父・母・愚員・他(下記)	
		生年月日：20 年 月 日 生まれ			
		暦年齢： 歳 ヶ月			
●判定の目安		3:「いつでも(時)・どこでも(場)、誰(人)であっても」 <b>強く該当</b> する 2:「 <b>その時・その場・その状況</b> 」や「 <b>関わる相手次第</b> 」で該当したり、しなかったりする 1:明確には該当しないが、 <b>ガマンしながら、意識しながら</b> の様子が認められる 0:まったく該当しない	幼少期 とりわけ、 1～2歳 頃の様子	現在の の様子	該当時の状態像など
1. 触覚系A：身だしなみを整える・健康を維持するために、親ならば当たり前に行う養育行為に 強い拒否や抵抗を示す＝生活面での「拒否」や「育てにくさ」が多く出る					
①散髪されることを嫌がる～とりわけ、耳の周りやうなじ					
②耳アカ取りをされるのを嫌がる～自分ではできていても					
③歯磨きされるのを嫌がる～歯ブラシに噛み付くor自分では磨く					
④爪切りをしてもらうのを嫌がる～自分で爪噛みしていることも					
⑤口の周りを拭いてもらうのを嫌がる～何でも口に入れるのに					
⑥顔を洗ってもらうのを嫌がる					
⑦髪の毛を洗ってもらうのを嫌がる					
⑧髪の毛を洗ってもらうのを嫌がる					
2. 触覚系B：身につけるものへの拒否やこだわり					
①袖口などが少しでも濡れると着替えたがる～大わめきすることもあり					
②帽子をかぶるのを嫌がる～とりわけ顎ヒモが嫌いで口に入れて噛んでいる等					
③マスクを着けるのを嫌がる					
④お面などをかぶるのを嫌がる					
⑤マフラーを嫌がる～タートルネックのセーターなども嫌がることあり					
⑥手袋を嫌がる～ミトンならOKだが、5本指の手袋は嫌がること多い					
⑦素足になりがたがる／靴や靴下を脱いでしまうことが多い					
⑧裸になりがたがる／服を脱いでしまうことが多い					
⑨襟に付いているタグが嫌い～キレイに切り取れば、着てくれることもある					
⑩服を着るのが嫌いで、すぐに裸になりたがる					
⑪腕まくりや裾まくりが嫌い					
⑫半袖・半ズボンが嫌い					
⑬腕まくりや裾まくりを好む					
⑭長袖・長ズボンが嫌い					
3. 触覚系C：自分からは触りにいくのに、触られることには拒否が出やすい ～アクティブタッチは出来ても、パッシブタッチでは拒否が出やすい					
①子どもの方から手をつないできたので、握りなおしたら手を振り払い嫌がること多い					
②子どもの方から膝に乗ってきたので、抱き直そうとしたら嫌がって逃げた					
③子どもの方から遊具に手を伸ばしていたのに、大人の方から持たせると、手を引っ込めた					
4. 触覚系D：触れる素材が偏る 「触れない」だけではなく、触れるようになると「過剰に触る」場合もあり(≒自己刺激行動)、それらが一人の子どもの中で混在する					
①ベトリ系：糊、粘土など					
②千ク千ク系：砂、芝生など					
③フワフワ系：ぬいぐるみ、ボアの素地など					
④ヒエヒエ系：公園遊具の金属部分、ピータイル、板の間など					
5. 触覚系E：攻撃性と自己刺激行動 ～近くにいる人に対しての「攻撃性」や、各種の「自己刺激行動」が出やすい					
①気に入らないことがあると、近くの人に爪を立てる・引っ掻く・噛みつく					
②気に入らないことがあると、自分の頭をたたく・自分の手を咬む					
③手にしたモノや自分の服の襟口や袖を口に入れてなめる・歯に当てる・咬む					
④手持ちぶさたや退屈、眠いときに、爪噛みや指しゃぶりする、鉛筆をかじる					
⑤手持ちぶさたなどときに、自分の頭をたたく・自分の手を咬む					
その他／自由記述～その他、お子さんの「遊び方」や「日常生活」「社会性」などで、気になること					



# ハ：でも、何で「**触覚防衛(反応)**」に対して、「**タッチング**」なん？

- A. それは、①「**脳の進化**」と②「**脳のはたらき(機能)のトラブル**」についての学びから見(視・観・診)えてくるんやっ！
- B. もう一つ、「**脳のはたらき(機能)のトラブル**」を改善していくためにもその脳の状態に見合った「**感覚情報**」が必要やったんや！

## 1. 「**脳の進化**」と「**脳のはたらき(機能)**」から学ぶ、「**原始系**」という脳の機能

◆ なぜ、そんなことをしでかしてしまうの？ ……脳のはたらきとして学ぶ「触覚防衛反応」  
 →それは、触覚情報の交通整理がうまく出来ず、混乱しているから

- 1) 「**原始系**」対「**識別系**」という、相対立するネットワーク機能のお話し
  - ①「**原始系**」の主な仕事は、本能的な行動回路にスイッチを入れること
    - (A) **取込**行動…自分の体に触れたものがエサならば、向かっていく
    - (B) **防衛**行動…自分の体に触れたものが天敵ならば、身構える、逃げる
    - (C) **闘争**行動…エサに喰らい付く際も、天敵から逃げる際も、闘う
- 2) 私たちの脳の中でも、進化の遺産として引き継がれている「**原始系**」の機能
- 3) 基本的には、ヒトが産まれたときには「原始系」の機能は完成されている
- 4) 言うならば、「**原始系**」は「**生命維持機能**」として働いている  
 →このネットワークが消滅するときは「死ぬ」とき

**1【原始系】の触覚=進化の過程で残った、原始動物の時代から使っていた本能的触覚機能**

この3パターンを反射的に切り替える役割。人間も生得的に持っている。

【命を守る機能としての原始系】

**2【識別系】の触覚=高等な哺乳類(猿)以降に飛躍的に進化させた知的触覚機能**

学習と経験で他機能とも連動し発達する(生後3ヵ月ころから発達し始める)

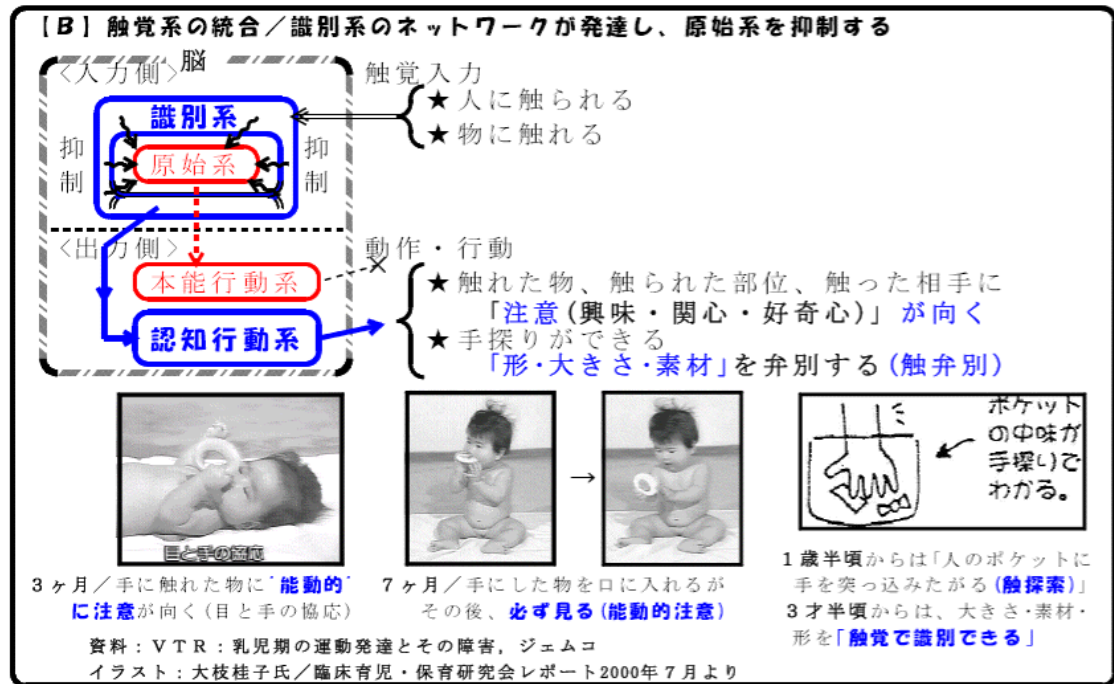
【手探りができるのは、識別系のおかげ】

～イラスト：大枝桂子氏／臨床育児・保育研究会(<http://www.ikuji-hoiku.com>)レポート2000年7月より～

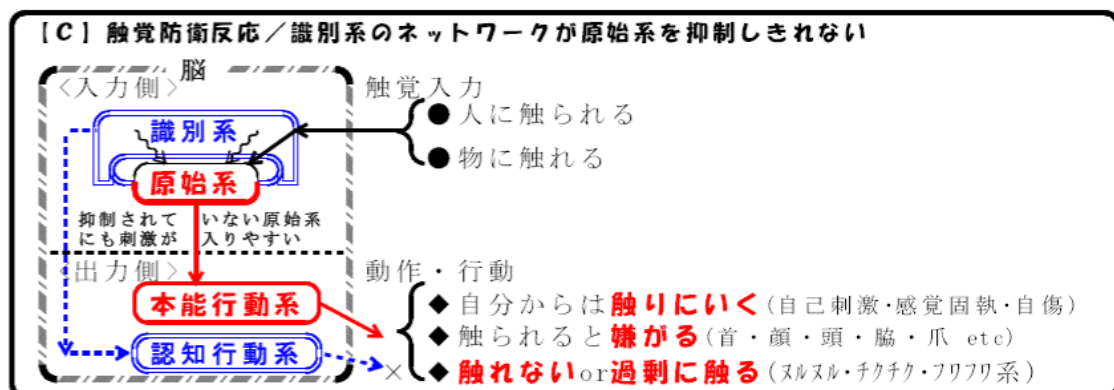
## 2. 産まれたばかりの赤ちゃんは、「原始系」という脳の機能を使って生きている



## 3. でもやがて、「識別系」という「高等に進化させた脳機能」が活性化されてくるに従って「原始系」という「進化の初期段階から使ってきた本能的な脳機能」にブレーキをかけていってくれる



## 4. しかし「識別系」が十分に機能しない脳があると、「原始系」という触覚の本能的なはたらく機能にブレーキがかからず、その結果、「原始系」が「暴走」している状態に陥る



## ■実践・実技編

### ～**触覚防衛(反応)**の”発生原理・原則”を押さえた上で

**A：「HOW TO」に溺れるなかれ：「方法」は喉から手が出るほど欲しい**

1. タイプA = 「HOW TO」を消化・吸収していく実践家

- その方法で、『何故』効果が出るのだろう = Know Why? を探求し続ける人に多い  
その時・その場・その状況ごとに、『この子』を『観察』できる人に多い  
常日頃から、『この子』にとっての『意味づけ』を考え続ける人に多い

2. タイプB = 「HOW TO」に飲み込まれていく実践家

- 『方法(HOW TO)の習得』にとらわれ、『原理の探求』に関心が低い  
惜しくも、『即・答えが出ない状況』への『耐性が低い』人に多い  
悲しくも、『自己価値』『自己有能感』『自己肯定感』が低い人に多い

**B：それでは、「タッチング」…のお話しです**

### 「**タッチング**」



【タッチング：触ってもらっている自分の体に関心(=注意)を向けていく持続時間で勝負!!!】

出典：ジャパンライムDVD

出典：ジャパンライムDVD

<p>ポイント 触れられている部位に子どもが関心を向けていることを確かめる</p>	<p>ポイント 広い面積で均等な圧力をかけ、少しずつ移動していく</p>	<p>ポイント 表情・眼差し・しぐさで関心を向けているか確かめる</p>	<p>ポイント 触らせている時間よりも関心を向けている時間を重視する</p>
<p>ポイント→ 触れられている部位に子どもが関心を向けていることを確かめる    広い面積で均等な圧力をかけ、少しずつ移動していく    表情・眼差し・しぐさで関心を向けているか確かめる    触らせている時間よりも関心を向けている時間を重視する</p>			
<p>出典：小学館ブログ(発達障害の子を理解して上手に育てる本・幼児期編) <a href="http://www.shogakukan.co.jp/pr/90th/310808.html">http://www.shogakukan.co.jp/pr/90th/310808.html</a></p>			

1. 「**内発的動機づけ**」を重視するという考え方は、当たり前にはあるのですが、**一見**、”〇〇して楽しんでいる”と語られる子どもの”**内面世界**”では、必ずしも”**楽しみ**”は湧いているわけではなさそう……

例えば：指しゃぶりする子(の大半)は、”この子”の**内発的動機づけ**に基づく行動ではなく、**「原始系」**の暴走状態がトリガー(引き金)となって生じている**自己刺激行動**である

2. だから、**「触覚防衛反応」**という症状に立ち向かって行くためには、”この子”の脳の中で、まだ十分に機能を発揮していない**「識別系」**の活動性をどうやって高めていくかにかかっている(はず)

3. **「タッチング」**という技法は、**「原始系」**の暴走を抑制していくことがテーマなので  
・ **「識別系」**の活動性が何なのかの**「意味が解らない＝”この子”の反応が読み取れない**”と  
・ 単に**”強制的”**に**”触覚刺激を入れるだけ”**になってしまう



※) **ポイント**：以下のどれかの**反応を引き出すこと** =無造作に行っても効果ナン！

- ①触られている**身体部位**に関心や注意(Attention)を向け続けていること(目標は30秒以上)
- ②触っている**相手**に関心や注意(Attention)を持続的に向けること(=**アイコンタクト**)
- ③視線はそらせているが、**表情や仕草から**、関心や注意(Attention)が向いていることがわかる

## C：よくある、「**効果が出せないんです**」話し

～例えば、発達支援の事業所に通っている**0君(年長児)**の場合

### 1. 触覚防衛反応としては、「**中～軽度(移行期)の触覚防衛**」が出ている男の子のエピソード

- 1) **散髪**は、好きなビデオを見せておかないと嫌がって逃げてしまう
- 2) **耳垢取り**は、「母親」限定でやらせてくれる様になった
- 3) **歯磨き**は、年長(5歳児)になってから何とかさせてくれる様になった
- 4) **爪切り**は、「タッチング」を毎日家でやり始めて2ヶ月経った頃から、抵抗なくさせてくれる
- 5) **帽子**は、年中(4歳児)の後半から、大好きな戦隊モノの柄ならば、かぶれる様になっていた
- 6) ただ、半年経っても通所先での「**お散歩**」の場面で、「**友達と手つなぎが出来ない**」のが親の悩みの種





### 2. 親御さんの努力：

～母曰く「毎日、『5分以上』の頻度と所要時間で続けているんです」

「実施して、もう**半年は経ちますが、「手つなぎ」が出来ないんです**」

「『タッチング』している間は、**30秒以上の間じ～**としているんです」

「『タッチング』をやり始めた頃は、爪を切るのも一苦勞だったんですよ」

			
A【出典：ジャパンライムDVD】 ・家でも、だいたいこんな風で、じ～っとしています ～ただし、 <b>触らせているだけで注意の向け方は希薄</b> ・ほぼ毎日、5分程度は家で実施しています、とのこと	B【出典：ジャパンライムDVD】 ・電車のおもちゃを見せただけで、注意の向けどころが電車のおもちゃに向かってしまい、手を伸ばして取ってしまいました	C【出典：ジャパンライムDVD】 ・「タッチ」するときの圧力や、場所の移動を慎重に実施していくと、それまで何となくしか見てなかった自分の腕をしっかりと見るようになってきました	D【出典：ジャパンライムDVD】 ・また「妨害刺激」=電車のおもちゃが提示されても、チラッと見るだけで、 <b>注意を「タッチ」されている部位に戻すことができる様</b> になってきました

※ このあと2ヶ月ほど経った頃には、「**友達と手つなぎ出来る**」様になっていました！

**ポイント**：「**タッチング**」を実施することで、「**触覚防衛(反応)**」の改善「効果」を上げていくためには、「**この子**」の注意の向けどころを丁寧に読み取り、それをコントロールできるか！？にかかっている

## D：「**バイブレーター**」も、「**触覚防衛(反応)**」の改善に効果あり

1. **皮膚(触覚)**だけでなく、**筋肉や関節からも大量の感覚(固有覚)情報**が脳に入ってくるので、防衛反応の改善には効果が大きい(ハズ)
2. ただし、「**振動数**」と「**振動の強さ**」、および「**この子**」の体のどこに当てるか次第では、「**原始系**」を刺激してしまいかねないので、時に「**タッチング**」以上に注意を要す
3. 思春期辺りからは、振動刺激が「**性的快感(これも原始系由来)**」を誘発させかねないので要注意